



2014年の当面する活動

- 1月6日(月) 仕事始め
- 1月 2014年度県予算編成について要望書の提出
- 1月25日(土) 社民党岡山県連合旗開き
10:00 えきまえミヨシノ
新春講演と懇親でのひとときを!
- 2月1日(土) 社民党中国ブロック総会 & 「ただものWA 全国キャラバン」(広島)
吉田党首との対話集会です。参加希望・ご意見を県連合(Fax.223-0641)へお寄せください
- 2月11日(火) 2・11日本原基地撤去集会
- 2月23~24(日) 社民党全国連合定期大会
- 3月22日(土) 社民党岡山県連合定期大会
※特定秘密保護法の廃止を求める署名を!

2014年・民主主義を後戻りさせてはならない

連日、特定秘密保護法の廃案を先頭に立てて訴え、12月5日岡山駅頭での3党共闘でマイクをもつ福島代表 ※写真中央でマイクを持つ。



新年おめでとございませう。皆さまには、ご家族ともどもお健やかに新年を迎えられたこと、お慶び申し上げます。さて、昨年末の「特定秘密保護法案」強行採決につき、本年には集団的自衛権の行使、武器輸出三原則の緩和や積極

特定秘密保護法の廃止を求めて、連日の共闘実現

特定秘密保護法案の国会審議が山場となった12月第1週には、党県連合は、連日して街頭から廃案を訴えた。さらに5日には岡山駅頭で社民共産・民主の共闘が実現、3党が交代でマイクを持った。さらに強行採決が行われた6日にも社民・共産と連日、各党

の弁士が交代して「何が秘密かわからず、突然拘束される危険な法案だ」「放射能漏れが隠され続け、テロ対策を口実にさらに不透明になり、国民が危険な状況におかれる」「など、ヒラを配って訴えた。

わたしも「ヒラ」配りたい

夕刻の寒い中、帰宅を急ぐ市民の反応はいまひとつだが、「私もヒラ配りを手伝いたい」と女性から声を掛けられた。法案は強行採決されたが、粘り強く廃止を訴えていかなければならない。「あきらめ」からは何も生まれないから。

的平和主義など、平和憲法の実質的な変更の動きを強め、長年の集大成を図ろうとしています。また被災者・地の現状、国民の多数の声をよそに、原発再稼働・海外への原発売込みをすすめています。1974年、田中元首相は、電源三法を全国の原発推進のために血税投入を決めました。また、その反対に中曽根元首相は、本来であれば税金で足を守ることを「国鉄民営化」にカシを切り、税金投入を打ち切りました。これこそ反国民的な策の最たるものです。この上に「特定秘密保護法」を強行採決しました。日本の前途に道はないといえます。前述の3法は同根の性格の法律である。(代表・福島捷美)

伊方原発再稼働反対集会が12月1日、冷たい雨が降る中、松山市で開かれ、全国から約8千人、岡山からバス2台84人が参加した。開会の挨拶で社民党・吉川衆議院議員は「水島の原油流出や公害で汚れた瀬戸内海は環境が改善したが、しかし、伊方原発が壊れ、放射能が放出されると元に戻すことはできない」と訴え、特定秘密保護法案についても廃案を目指してがんばると決意を述べた。集会は、「原発の再稼働を許さず、廃炉に向けて手をとりあつて行こう」という決議を採択した。岡山からの参加者もテモ行進で「原発はいらない」「伊方原発はいらない」とシュプレヒコールしながら雨の中を行進しました(矢吹) ※原水禁参加者: 福島・光元・矢吹・宮原・池田の5名

寄稿 伊方原発の再稼働反対 松山8000人集会に参加 「NO NUKES えひめ」



あいさつする社民党 吉川衆議院議員

北海道・根室ながきり昆布 1200g 1000円 ※ご注文は党県連合・各支部

「新報」読者の声 1月14日(第2火) 18時 1月17日(第3金) 18時 ※いずれも党県連合会議室

新年といっても日常の継続で、次の一日以外何も変わることはない。それでも初日の出、普段は縁遠い初詣、書初めには心も凜とし初売りに心ざわぎ「初」が付くとなにやら新鮮な気持ちになるからおかしな本紙読者の皆さんはどんな「初」で始まったでしょうか。テレビ・ゲーム、今ならスマートフォンから一時はなれ、書初めならぬ読初めに挑戦し、自分の一冊を見つめるのもいいかも▼ところでアメリカの出版上位5社(一般書の80%を占める)で「イラク戦争」批判の書物は一冊もなかったという。メディアからの情報をどう見るかも、また問われる▼「国民はみずからに値する政府を得る」という。国民の大半が原発に否定的な声のなかでも、原発を世界へ売り歩き、再稼働ありきの政策を押しすすめる政府を受入れる▼アウトバートを張りめぐらせ、全権委任法で当時のワイマール憲法を追いやった歴史と、「改憲はナチスに学べ」といつたいまと似てくる▼今年、戦後の平和主義の岐路に党の存在が問われている。